

事業報告書

令和 5 年度版

令 5 年 4 月 1 日～令 6 年 3 月末日



～令和5年度の主な事業～

社会福祉法人 未来こどもランド

社会福祉事業

第二種社会福祉事業

保育所 練馬区立石神井町つつじ保育園

保育所 練馬区立光が丘第十保育園

保育所 練馬区立東大泉保育園

小規模保育事業 すまいるベリー保育園

放課後児童健全育成事業 未来こどもランド学童保育

地域子育て支援拠点事業 子育てのひろば すまいる石神井

地域子育て支援拠点事業 子育てのひろば すまいる高野台

障害児通所支援事業 放課後等デイサービス すまいる・ステップ

障害児通所支援事業 児童発達支援 すまいる・キッズ

障害児通所支援事業 放課後等デイサービス すまいる・ツリー

特定相談支援事業 未来こどもランド すまいる相談支援室

障害福祉サービス事業 就労継続支援B型 すまいる・フォレスト

障害福祉サービス事業 就労継続支援B型 すまいる・ピーターパン
併設 スイーツ&ハニーファクトリー

公益事業

地域交流拠点事業 「みんなのカフェ」 すまいる・ヴィヴィファイ

◆法 人◆

1) 概 略

- 法人名 社会福祉法人未来こどもランド
- 所在地 東京都練馬区谷原5-22-2 MKLビル
- 代表理事 栗原三津子
- 設立認可年月日 平成26年4月8日
- 法人登記年月日 平成26年4月8日

2) 理事、監事、評議員

今年度の理事（6名）、評議員（7名）、監事（2名）は次の通り

理事長 栗原三津子

理 事 岩瀬秀明 平山晴一 鈴木真 東江福江 香取寛

評議員 平田美穂 村上環 遠藤由美子 長島庫子 石井孝弘 上田ゆき子 長濱秀幸

監 事 田渕順三 船越敏万

3) 理事会の開催状況と主な決議事項

開催日時

令和5年5月31日

※コロナ感染対策実施下におけるズーム会議での開催

- ・令和4年度計算書類および財産目録について
- ・令和4年度における積立金について
- ・次期理事・監事候補の選任について
- ・定時評議員会の招集について

令和6年1月29日

※コロナ感染対策実施下におけるズーム会議での開催

- ・就業規則の変更について
- ・東大泉保育園の運転資金のための借入について

令和6年3月18日

※コロナ感染対策実施下におけるズーム会議での開催

- ・石神井施設における今後と新事業計画の承認
- ・就業規則の変更について

令和 5 年度 石神井町つつじ保育園 事業報告書

1 受託事業者名 社会福祉法人未来こどもランド 2 受託開始年月日 平成 18 年 4 月

3 全体概況

行事についてコロナ禍以前に戻るのではなく、より良い開催方法や保護者の参加の仕方を考え行ってきた。

みんなであそぼう会(幼児クラスのみ参加)はクラス入れ替え制での実施から 3 歳児クラス単独と 4 歳児 5 歳児クラス合同に変更。地域競技を復活させ乳児クラスはそこに自由に参加とした。園庭開催の為保護者の人数制限は設けなかった。

幼児大きくなったね会はクラス入れ替え制はそのまま継続したが保護者の人数は緩和し 5 名。卒園式は職員の歌を入れ、保護者は中学生以上を含む 5 名までとした。

また、ふれあい給食、保育参加は、より多くの方へ参加を呼びかけた。年長児のお店屋さんには他クラスの保護者にもご案内をだすなど、保育園の活動に参加していただいたり、写真付きの連絡帳(コドモン)の配信も合わせ、なるべく保護者の方々に保育園の活動が目に見えるよう工夫している。

5 歳児は地域高齢者との交流を再開しデイサービスセンターを訪問した。異年齢交流も本格的に再開し計画的に進めてきた。魚の解体ショーも 4 年ぶりに再開し食育活動も活発になってきている。

園庭環境の見直しも進めてきた。子どもたちが興味をもって自由に摘んだり遊びに使えるように草花を増やし、また、登り降りを楽しみながら身体の発達を促せるよう築山を作った。引き続き安全に楽しく子どもたちが遊べる環境を整えていく。

令和 5 年度の運営委員会は初めて書面開催となったが、開催方法についてのご意見はなかった。運営委員会や第三者評価でいただいた質問や意見、その回答を職員全員で共有し改善に努めた。

人材育成については、昨年度同様、ねりまなを始めとした外部研修を積極的に受講した。OJT も重要と考え、全体会議で社会人としてのマナー、保育や人権については具体例をあげて意見を出し合い考えを深めた。研修報告発表を受けて感想や質問などを出し合うなど受けた研修を活かしていきたい。

2 保護者との連携

(1) 各たよりの発行状況

名称	発行回数
園だより	毎月
保健だより	毎月
栄養だより	毎月
クラスだより	随時
フォトだより	随時

(2) 保護者会等実施状況

	保護者会	保育参観 (参加)	個人面談	その他 ()
0 歳	5/12(金) 2/14(水)大きくなったね会・保護者会	6 名	随時	予定日以外にも実施
1 歳	4/27(木) 2/15(木)大きくなったね会・保護者会	10 名	随時	予定日以外にも実施
2 歳	4/20(木) 2/16(金)大きくなったね会・保護者会	11 名	随時	予定日以外にも実施
3 歳	4/18(火) 2/28(水)大きくなったね会・保護者会	6 名	随時	予定日以外にも実施
4 歳	4/17(月) 2/29(木)大きくなったね会・保護者会	13 名	随時	予定日以外にも実施
5 歳	5/19(金) 2/9(金)	21 名	随時	予定日以外にも実施

3 運営委員会等開催実績

	開催日	時間	会場
第 1 回	11 月 17 日		書面開催

4 障害児保育

3歳児1名 4歳児1名 5歳児1名が在籍。

3歳児クラスのお子さんは入園当初経管チューブをしていた。その後、胃ろうをつくりチューブは外れた。その都度保育支援係に相談しながら保護者との約束事を明確にしてきた。食事はブレンダー食。発達センターや盲学校等とも連携をとっている。

4歳児クラスのお子さんは11月に体調を崩し入院となり経管栄養と気管切開となる。医療的ケアが必要となるが当園では医療的ケアはできない為、保育支援係に相談し保護者とも話し合った。可能な限り在籍を続けたいとのことで、気管切開が取れるまでは保護者同伴での通園となる。昨年生まれた第二子のお子さんは当園1歳児クラスに入園が決まった。

自閉症スペクトラムの5歳児は、保育室から時々抜け出すことがあるものの担任の声掛けに応じて戻り、意味のある言葉のやりとりもみられるようになった。

クラスの活動にも本児なりの方法で参加することができ、同じ時間、空間の共有が多くなった1年だった。

5 地域との連携

(1) 地域との交流事業実施状況（子育て支援、ふれあい交流、家庭的保育者児童への給食サービスなど）

月	事業名	事業内容	参加者
4月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	4名
5月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	7名
6月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	15名
7月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	3名
8月		実施なし	
9月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	9名
10月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	6名
11月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	50名
12月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	6名
1月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	8名
2月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）ふれあい給食	1名
3月		実施なし	

6 給食（アレルギー対応や安全、衛生管理について）

入園前の情報に基づき、面接時に栄養士や看護師が保護者より詳しく聞き取りをし、園児のアレルギーの状況を職員間で共有した。

給食を配膳する保育士や非常勤職員に身支度をマニュアル通りに再徹底し、衛生面に気を付けていくようにした。

8月に黒糖パンを1歳未満児に提供してしまった。この事故を反省、検証し、調理室内、保育室、事務所などそれぞれのルールを明確にして共有し防止に努めた。

調理に携わる栄養士・調理員は換気をした部屋で少人数での休憩を交代でとり、感染防止に努めた

7 園児の健康管理

(1) 実施状況について

	実施の有無		実施の有無
健康診断（春・秋）	有	歯科保健指導 （講演会、歯磨き指導等）	有
0歳児健診（月1回以上）	有		
歯科健康診断（春・秋）	有		

(2) 感染症等への対応について

手洗いなどの基本的な感染予防をし、職員自身が健康管理と感染防止に努め体調不良の際には無理をせず申し出ることを周知徹底した。

園児にも手洗いの大切さを伝え感染予防に努めた。

感染症が流行った時には、合同保育や異年齢交流は控え、室内の清掃をピューラックスを使用し消毒を行った。

8 個人情報（個人情報の適正な取り扱いや研修の実施などについてご記入願います）

区の情報セキュリティ研修を全職員が受け、テストの結果を個々に返却し深い理解につなげた。児童票、カメラ、アイパットは持ち出しチェック簿に記入し、また持ち出しや返却する際には声にだして確認を行うことを徹底してきた。

9 各規定の設定（有りの場合は○、無い場合は×）

情報公開に関する規定 （仕様書15に定めた内容として）	○
情報セキュリティポリシーの規定 （情報システムを用いる場合に、仕様書14の9に定めた内容として）	○

令和 6年 4月 22 日

令和 5 年度 光が丘第十保育園 事業報告書

1 受託事業者名 未来こどもランド 2 受託開始年月日 平成 25 年 4 月 1 日

3 全体概況

令和 5 年度、新型コロナウイルス感染症が 5 月に 5 類に変更されたことにより、感染症対策等をコロナ前に戻しつつ、子ども達が安全にのびのびと遊び生活できるように環境を考え、日々の生活や行事について職員で話し合い工夫してきた。消毒については、ドーバパストリーゼからピューラックスに変更、コストを下げて安全に生活できるように消毒方法等、全職員で確認徹底してきた。

※行事について

毎年恒例の「えんにちごっこ」は保育園が主となり、保護者にボランティアを募るといった形式で開催し、保護者 20 名と職員とで準備を行った。

コロナ前に行っていた「みんなで楽しむコーナー」では、保護者が手話や手品を披露してくれたり、保育士と一緒に会を盛り上げることができ好評だった。「運動会」は、夏の雲小学校の体育館にて、保護者ボランティアの力をおかりして準備し、卒園児を含め 300 名以上の参加があり開催する事が出来た。「バス遠足」について 5 年度は 4, 5 歳の兄弟すずめの縦割り保育を活かし、埼玉こども動物自然公園に行った。距離的にも丁度よく、安全に向かい帰園することができた。

「大きくなったね会」は例年 2 月に行っていたが、5 年度は 12 月に開催、運動会から 2 か月もなく心配されたが、活動を楽しみながら普段の遊びを活かし発表することで無理なく開催する事ができた。また、感染症等で欠席する園児もなく、開催方法の工夫により緊張する姿もなく、全員の参加で保護者も子ども達も楽しめたようで連絡帳等に良い感想が多く、来年度にも生かしていきたい。

※保育園業務の ICT 化について

登降園管理、連絡帳、お便り、身体計測結果、アンケート調査の配信がスムーズになってきている。連絡帳にはその日の子ども達の活動写真を載せることができるため、通勤途中に見ることが出来るため子どもとの会話が出来ると好評。保育士の事務軽減に向けては指導計画の入力。また、ドキュメンテーションを活用して保育力、質の向上を目指している。ドキュメンテーションを使い、園内で発表し合いながら研修として全職員で学び合っている。

※保育士の保育力向上を目指して

練馬区主催の研修に参加。また、キャリアアップ研修は東京都の保健福祉健康財団主催の「乳児保育」「幼児保育」「保護者支援」「食育アレルギー等」に 8 名の参加、練馬区主催のキャリアアップ研修に 2 名参加した。

運営委員会について

令和 5 年度は父母会、運営委員会係からの報告があり全保護者の意見により、紙面開催で行った。アンケート調査もコドモンの機能を使用し、スムーズに行うことが出来た。特に取り上げなければならない意見はなかったが、毎年ベビーカー置き場についての意見はあり、今後も一つひとつ丁寧な対応をしていきたい。また、R5 年度末で父母会が解散する、という連絡を受けている。

4 職員構成 様式1のとおり

5 年間行事実施状況 様式2のとおり

6 保護者との連携

(1) 各たよりの発行状況

名称	発行回数
園だより	毎月、随時 年 12 回 ()
保健だより	毎月、随時 年 12 回 ()
えいようだより	毎月、随時 年 12 回 ()
クラスだより	毎月、随時 年 12 回 ()
	毎月、随時 年 回 ()
	毎月、随時 年 回 ()

(2) 保護者会等実施状況

	保護者会	保育参観 (参加)	個人面談	その他 ()
0 歳	4 月 5 日 2 月 20 日	1 日 1 名とし 11 名の参加	11 名	
1 歳	4 月 10 日 2 月 5 日	1 日 1 名とし 13 名の参加	13 名	
2 歳	4 月 17 日 2 月 7 日	1 日 1 名とし 7 名	7 名	
3 歳	4 月 18 日 2 月 8 日	1 日 1 名とし 16 名	16 名	
4 歳	4 月 20 日 2 月 6 日	1 日 1 名とし 16 名	16 名	
5 歳	4 月 21 日 1 月 12 日	1 日 1 名とし 17 名	17 名	

7 運営委員会等開催実績

	開催日	時間	開催方法（対面、書面、オンライン）
第1回	10月11日		書面開催
第2回			
第3回			

8 障害児保育

昨年度、事後認定された現在1歳児、今年度4月入園の3歳児のふたりの園児の障害児保育を実施している。

1歳児園児は当初、水頭症の疑いがありリザーバーを埋め込んでいる。その後ミオクロニー欠伸発作と診断されて、常時バルプロ酸内服開始。現在、一対一の介助が必要。保護者の希望もあり、東京都北療育医療センターにて療育。年4回は保育園をセンター職員が訪問し、保育園との連携をしている。3歳児園児は自閉症で発語無し。こだわりが強い。走りまわることも多く一対一の対応をしている。週1回リタリコでの療育、他にキッズファースト、北療育医療センターでの療育を受けている。両保護者共に、療育に熱心で園の巡回指導にも協力的。

園の体制について、一対一の加配対応をしている。

9 職員研修 様式3のとおり

10 特別保育 様式4のとおり

11 地域との連携

（1）地域との交流事業実施状況（子育て支援、ふれあい交流、家庭的保育事業者への給食サービスなど）

月	事業名	事業内容	参加者数
4月	地域交流	子どもの日お祝い会	0
5月	なし		
6月	地域交流	リズム遊び・お店屋さんごっこ	6
7月	地域交流	七夕コンサート	3
8月	なし		
9月	地域交流	一緒に体操しよう	4
10月	地域交流	運動会に来てね。地域競技	0
11月	地域交流	リズム遊び・園庭遊び	4
12月	地域交流	人形劇	0

1 月	地域交流	新年お楽しみ会	2
2 月	地域交流	豆まき	0
3 月	なし		

12 給食（アレルギー対応や安全、衛生管理について）

令和5年度、卵アレルギーが4名、乳卵アレルギーが4名。そのうちエピペンを預かる園児が1名。

それぞれ一人用のテーブルを用意し、エプロン、おしぼり等も個別にした。また、アレルギー児用のエプロンや手拭き等は事務所に保管し、その都度担任が取りにきて間違いの無いように職員間で話合ってきた。給食室に給食を受け取りに行く時や、おかわりを提供する時の注意事項の確認を全職員で統一確認している。その他、ナッツ、エビ、赤魚のアレルギー児もいるため、災害時用ビブスを用意している。衛生面では、排泄後使用のウエットティッシュ、食事用のウエットティッシュ等、すべて園で用意している。遊具消毒

排泄、嘔吐の処理方法についてもマニュアルを掲示したり、全職員で確認する場を設けている。

13 園児の健康管理

（1）実施状況について

	実施の有 無		実施の有 無	(2) 感 染症等へ の対応に ついて
健康診断 (春・秋)	○	歯科保健指導 (講演会、歯磨き指導 等)	○	
0歳児健診 (月1回以上)	○			
歯科健康診断 (春・秋)	○			
区の感染症対策マニュアル、ガイドラインを読み合わせしながら職員で確認し、感染予 防に努めている。非常勤さん含め職員全員に嘔吐物の処理方法の研修を行っている。また、 情報収集をし保護者にも情報の提供をしながら協力してもらいたい事、行ってほし い事を知らせている。職員は出勤の際、外からのウイルスを持ち込まないように通勤着 から保育着に着替えている。園児も登園したら手洗い、食事や排泄等で使用するすべ のタオルをペーパータオルにしている。乳児クラスは舐めることも多い為、その際すぐ に消毒できるように、室内数か所にドーバパストリーゼに浸した布を用意している。				

14 個人情報（個人情報の適正な取り扱いや研修の実施などについてご記入願います）

法人の就業規則で個人情報保護法に基づく遵守が定められており、採用時に研修を実施している。保護者には個人情報の利用目的について説明し、同意書を提出していただいている。身近なところから個人情報の管理について事例検討しながら管理徹底についての確認を行っている。指導計画を含め、個人の健康記録等、ほとんどのICT化を進めているため、個人に関することが漏れることがないよう、SDカード、カメラ、児童表等、事務所からの持ち出し、返却のチェックの徹底をしている。

15 各規定の設定（有りの場合は○、無い場合は×）

情報公開に関する規定 （仕様書 1「入園児童等に対する保育の実施およびその他の処遇に関するこ と」の仕様細目 14 に定めた内容として）	○
情報セキュリティーポリシーに関する規定 （受託情報の保護および管理に関する特記事項第 5 条に定めた内容として）	○

令和 6 年 3 月 31 日

令和 5 年度 すまいるベリー保育園事業報告書

1 事業者名 社会福祉法人未来こどもランド すまいる・ベリー保育園

2 事業開始年月日 平成 27 年 4 月 1 日

3 全体概況

今年度から新型コロナウイルス感染症の対応が 5 類になったが、引き続き、園児と職員の健康管理と園内（玩具、棚、柵、床等）の消毒、丁寧な手洗い、換気を徹底して行ってきた。それ以外は、状況に応じて少しずつ緩和してきた。（詳細は「感染症等への対応」参照）

利用定員については、4 月当初は、2 歳児 7 名、1 歳児 6 名、0 歳児 2 名、合計 15 名。年度途中での入園があり、9 月からは 2 歳児 8 名、1 歳児 8 名、0 歳児 5 名。合計 21 名となった。

職員体制については、新しい職員が 4 名（保育士 3 名、栄養士 1 名）入職した。コドモンの操作等（ドキュメンテーションを含む）に慣れるまではある程度時間が必要と考えていたが、4 月当初子どもの人数に対して保育士の人数が多かったこともあり、スムーズにコドモン操作に慣れることができた。今年度は子どもの人数に対して保育士の人数が多く、余裕をもって業務に取り組むことができた。

職員の研修については、全員がキャリアアップ研修を受講することができた。研修に参加した職員は、園内研修として他の職員に報告、発表をし職員間で共通理解することができた。保育の質向上と専門性向上に必要な環境を確保できた。

食育については、手洗いを丁寧に行い、キャベツを千切ったり、エノキを裂いたり、食材に直接触れる経験を通して、食への関心が持てるよう進めてきた。また、2 歳児クラスでは、野菜を育てる経験の中で野菜に興味を示す姿が見られた。

保護者が参加する行事については、10 月に親子で遊ぼう会を実施し、いつも遊んでいる場所で、普段通りのお子様の姿を見ていただいたり、一緒に体を動かして楽しんでもいただくことができた。

また、3 月には 1 年間で成長した子どもたちの姿（生活と遊び）を動画で配信し保護者には喜んでいただくことができた。

連携施設については、卒園後の受け皿として引き続き、白ふじ幼稚園・関町カトレア幼稚園と協定書を締結している。今年度は関町カトレア幼稚園に 2 名入園することができた。その他の卒園児も全員近隣の保育園等に入園することができた。

保育内容の支援に関しては、上石神井第二保育園と協定書を締結している。今年度は 2 歳児クラスが環境学習に参加させていただくことができ子どもたちも喜んでいた。

代替保育（保育内容に関する支援および相談等を含む）の連携施設については、同じ法人内の石神井町つつじ保育園と連携に関する覚書を締結している。

石神井町つつじ保育園の看護師には、日頃から園児の健康面の相談や新入园児健康診断の手伝いなどの協力を得ることができた。

今年度は外国人利用者が3家庭在籍していたため、日本語が通じない方には英語の連絡帳を作成したり、ひらがなやジェスチャー、翻訳アプリ等を利用して保護者の対応をしてきた。園児に対してもゆっくりと分かりやすく伝える等の配慮をしてきた。

コドモンについては、コドモンの利用方法を工夫しながら、保護者に子どもたちの成長をわかりやすく伝えられるよう工夫してきたが、コドモンのシステムには不便なところが多々あるので、より良いものになるよう、今後も要望書を申請し、システム改善（業務改善）に繋がるよう努めていきたい。

今年度も、より良い保育を実施していくために、保育園に対するアンケート調査を保護者の方に配布して回答をいただいた。好意的な感想をいただくことができたが、指摘事項もあったので改善していきたい。

4 保護者会・保護者参加の行事等実施状況

- ・保護者会⇒5月20日(土)にクラス毎で実施した。
 - ・親子で遊ぼう会⇒10月21日(土)にクラス毎で実施した。
 - ・個人面談⇒12月の他、必要に応じて保護者のお迎え時間帯に合わせて実施した。（希望者や普段じっくりと話ができない保護者対象）保護者の方の子育ての悩み等をじっくり伺うことができたことで、家庭と保育園で連携を取りながら、子どもと保護者への支援を行ってきた。必要に応じて保健所や家庭支援センターの方とも連家してきた。
- 気になる児童に対しては、時期を問わずに保育園から個別で声がけをして面談を実施してきた。

5 保護者との連携

（1）各たよりの発行状況

名称	発行回数
園だより	毎月
クラスだより	毎月

えいようだより	毎月
ほけんだより	毎月

6 地域との連携

・地域交流・地域子育て支援

項目	実施内容	実施回数 参加者
地域交流	2歳児クラスのみ、上石神井第二保育園の環境学習に参加させていただき、ごみ収集の様子を見学することができた。	1回
地域子育て支援	保育所体験	5回
地域子育て支援	出産を迎える親の体験学習	0回
地域子育て支援	小中学生の育児体験受け入れ	2回

※地域交流に関しては、新型コロナウイルス感染症が流行中で、直接触れ合うことなど積極的な地域交流はできなかったが、近隣の方や散歩先で出会う方々にこちらから気持ちよく挨拶するよう心がけた。

7 給食（アレルギー対応や安全、衛生管理について）

アレルギー対応児はいなかったが、職員には「食物アレルギーの対応マニュアル」を配布して周知した。

衛生管理については、衛生管理表に基づき、日々チェックを行い、安全で安心な給食づくりを徹底した。

また配膳する職員は身支度をマニュアル通りに徹底し、配膳時も衛生面に十分配慮してきた。

8 園児の健康管理

	実施の有無
健康診断（春・秋）	有
身体測定（月1回）	有

9 感染症等への対応

引き続き、園児の健康管理と園内（玩具、棚、柵、床等）の消毒、丁寧な手洗い、換気を徹底して行ってきた。

登園時の検温については1, 2歳児クラスは1月末まで実施してきたが2月からは行っていない。(0歳児クラスは通年実施) 食事の際も今まではクリアパネルを設置していたが、エアロゾル感染はクリアパネルでは防げないことからクリアパネルは取り外した。

マスクの着用については、保護者も職員も個人の判断とし、行事等で密集することが予想されたり、体調が優れない時、感染症が流行った時などはマスクの着用をお願いすることがある旨を保護者や職員に伝えてきた。

また、職員の健康管理についても、出勤時の丁寧な手洗いと「職員健康チェック表」(検温も含む)に健康状態を記入してから職務に就くようにしてきた。

新型コロナウイルス感染症以外でも、さまざまな感染症があるので基本の感染予防対策を行うとともに、職員も園児も体調が悪い時は病院を受診するなど、保護者の方々にも協力をいただきながら感染を拡大させないよう十分配慮してきた。

10 個人情報について

就業規則に個人情報保護法に基づく法令の順守を定め、採用時に書面で確認している。

児童票などの保育書類やタブレット、パソコン、カメラは事務所の鍵のかかる場所に保管している。

タブレット等の返却時には台数を確認し、返却忘れが無いよう徹底した。保護者には、個人情報の利用目的について入園の際に「個人情報提供同意書」を全世帯から得ている。保護者に対しては、ネットでの写真や動画、その他の個人情報を流出、公開することのないようお願いした。

11 障害児保育について

ASD傾向で言葉の遅れとその他発達の遅れが見られる園児が1名在籍していた。光が丘子ども発達支援センターの訪問支援員の方にお子様の様子をみてアドバイスをいただきながら保育を進めてきた。お子様の特性を理解した上で、毎月個別支援計画を作成し、細やかな支援と配慮を実施してきた。少しずつではあるが、入園当初より言葉数も増えてきた。

東大泉保育園 令和5年度 事業報告書

全体概況

(子どものため) 委託1年目として公立園からの引継ぎを活かした園運営を開始した。4月1日に入園説明会を行い、全体会議にて全職員が顔合わせを行った。令和5年度の第一回目の保護者会で、子どもを豊かに育む保育と保護者支援に繋がる内容についてアンケートの同意を得た結果を公表し、外部講師などについて、落ち着いた時期から行うことになった。各クラスの担任は4月1日から始めての人とチームを組み、保育にあたった。4月に2歳児が近隣の公園で怪我をし、6月に掲示にて公表した。退職者数名があった。子どもにとって楽しい保育運営をしながら、子どもの興味や関心が意欲や自立心に繋がっているかを基本に日々の保育の振り返りをした。7月に4歳児で重大事故が起き、直後より、安全対策に取り組み、怪我をした子どもと家族へのフォローを開始し、9月に怪我の事故についての書面を配付した。事務所を先頭に職員全体で、より安全な保育を実施し、計画通りに行事に取り組んだ。保護者出席の運動会、大きくなったね会では子どもの成長する姿をみせることができた。初めての年長児24名を無事に卒園させることができた。

(保護者ため) 職員全員が入れ替わり、子どもへの影響を心配する保護者の気持ちを受け止めながら、朝夕や連絡帳、保育参加を通じてコミュニケーションを図ってきた。保育を可視化できるように、園だより、栄養だより、保健だより、クラスだより・クラスや行事のフォトだより・保育参加・個人面談などについて積極的に取り組んだ。4月と7月の怪我の事故について、家族の心情に沿いながら、保育課の力を借りて、話し合いや検証会議、全体説明会を行い、信頼回復に取り組んできた。1年目アンケートでは保護者支援として、シーツかけや制作物、持ち物を軽減したことや外部講師による活動は評価された。

(地域のため) 3名の家庭福祉員と連携してきた。健康診断や行事のお誘いをした。秋の焼き芋や12月のきらきら会での「ただじゅんの太鼓あそび」で交流ができた。都営住宅の自治会長さんに駐輪場やゴミの件などを相談し、11月3日の都営全体の防災訓練に、保育園として紹介して頂き、挨拶ができた。保育園の荒馬の取組で太鼓の音がして迷惑をかけていることや保育園の役割りなどを話すことができた。

保護者との連携

(1) 各たよりの発行状況

名称	発行回数
園だより	毎月

保健だより	毎月
栄養だより	毎月
クラスだより	随時
フォトだより	随時

(2) 保護者会等実施状況

	保護者会	保育参観（参加）	個人面談	その他 （ ）
1 歳	5 / 1 2 2 / 2 0	毎週水曜日	随時	水曜日以外も実施
2 歳	4 / 2 6 2 / 2 2	毎週水曜日	随時	水曜日以外も実施
3 歳	4 / 2 5 3 / 1	毎週水曜日	随時	水曜日以外も実施
4 歳	4 / 2 1 3 / 5	毎週水曜日	随時	水曜日以外も実施
5 歳	4 / 2 0 ・ 1 / 1 6	毎週水曜日	随時	水曜日以外も実施 個人面談 11 月全員実施

運営委員会等開催実績

	開催日	時間	会場
第 1 回	7/14	17 時半～	1 階 ぱんだ組（4 歳児室）
第 2 回	1/19	17 時半～	〃

障害児保育

4 歳児 2 名、3 歳児 1 名在籍。12 月より 3 歳児 1 名事後認定を受けた。 年に 3 回の巡回指導を受けた。各クラス担任や指導員からのアドバイスの情報は全職員で会議や回覧で共有していった。巡回指導後は保護者に指導員からのアドバイスなどを話しながら、個別面談を実施した。また療育先との連携を進めた。（練馬発達支援センター・リンゴの木・リタリコ・法人のキッズ）療育先の指導員が保育園の子どもの様子を見たり、クラス担任が療育先に療育を受けている姿を見に行った。お互いに子どもの知らない姿に可能性を見出すことができた。
--

地域との連携

(1) 地域との交流事業実施状況（子育て支援、ふれあい交流）

月	事業名	事業内容	参加者数
5月	地域交流	5/17園庭開放 5/24ふれあい給食	園庭開放以外は 5組まで
6月	地域交流	6/7・6/14・6/21・6/28園庭開放 6/1地域の親子わらべうたあそび ふれあい給食 6/28 看護師への相談	〃
7月	地域交流	7/12・7/26園庭開放 7/5七夕飾り作り 7/12・7/26水遊び 7/20縁日ごっこ	〃
8月	地域交流	8/3 わらべうたあそび 8/2・8/30園庭開放	〃
9月	地域交流	9/6・9/13・9/20園庭開放 9/26 起震車体験・ふれあい給食	〃
10月	地域交流	10/5 わらべうたあそび 10/25うどんあそび	〃
11月	地域交流	11/1・11/8・11/15・11/22・11/29 園庭開放 11/15ふれあい給食 11/29看護師こどもの健康について	〃
12月	地域交流	12/13・12/20・12/27 園庭開放 12/6季節の飾り物作り・ふれあい給食 12/27栄養士 子どもの食事について	〃
1月	地域交流	1/17・1/24園庭開放 1/11新年祝い会・ふれあい給食 1/31鬼のお面作り	〃
2月	地域交流	2/7園庭開放	〃

給食（アレルギー対応や安全、衛生管理について）

子どものアレルギーの状況を全職員で共有する。
改訂アレルギーガイドラインおよび区のマニュアル（栄養士業務・衛生管理・食物アレルギー）、を遵守しながら区の献立表に沿って給食を提供した。調理員同士で各種マニュアルやガイドラインの読み合わせや、日常的に振り返りを行いスキルアップを図った。調理職員は誤食を起こさないように最大の注意を払って調理、配膳をした。4月当初、配膳途中でゴミの混入があり、配膳する食事全てに青のサランラップで覆うことにした。栄養士は保育士と連携し、子どもに食事が楽しいと思えるように食育を行い（スプーン

の持ち方や箸の持ち方) マナー等について知らせていった。幼児クラスから実施しているバースデーランチを誕生児は心待ちにするようになってきた。調理室3～4名の職員が保育室へバースデーランチを届けながら、子どもと交流ができた。保護者の子育てに活かせるように栄養だよりなどを通じて、朝ごはんの大切さなどを知らせ、玄関に、子どもに好評だったレシピを常設し、栄養や調理方法の情報の提供をした。

園児の健康管理

実施計画について

	実施計画		実施計画
健康診断 (春・秋)	有	歯科保健指導 (講演会、歯磨き指導等)	有
0歳児健診 (月1回以上)	無		
歯科健康診断 (春・秋)	有		

年間行事予定

	施設内	対象	施設外	対象
4月	13 (木) 入園進級祝い会 27 (水) 子どもの日祝い会	全園児 全園児		
5月	30 (火) 内科健診	全園児		
6月	16 (金) 歯科健診 20 (火) プール開き	全園児 3歳～5歳児		
7月	7 (金) 七夕 20 (木) 縁日ごっこ	全園児 全園児		
8月	24 (木) プール納め	全園児		
9月	15 (金) 敬老の日祝い会	5歳児		
10月	31 (水) 内科健診 21 (土) うんどう会	3歳～5歳児 全園児	26 (木) おにぎり散歩	3～5歳児

11 月	14（火）やきいもやさん 10（木）歯科健診	全園児	27（月）バス遠足	4・5歳
12 月	14（木）きらきら会 人形劇 15（金）きらきら会	全園児		
1 月	11（木）新年祝い会	全園児		
2 月	2（金）節分 17（土）幼児おおきくなったね会 20（火）1歳大きくなったね会 保護者会 22（木）2歳大きくなったね会 保護者会	1歳児親子 2歳児親子		
3 月	1（金）ひなまつり 15（金）卒園式 19（火）荒馬引継ぎ式 29（金）お別れ会	全園児 5歳児親子 4・5歳児 全園児	21（木）お別れ遠足	5歳児

放課後児童健全育成事業

令和5年度 未来こどもランド学童保育 事業報告

◆定期利用児童 1名

◆一時預かり枠登録者（定期スポット、単発スポットを含めて） 11名

◆対象児童 小学1年生～小学6年生

日々、アットホームな保育を心がけており保護者との連絡や連携を密に持つよう心掛けてきた。子ども達の心の安定、日々の健康に留意して学校生活、宿題、遊びとメリハリのある生活ができるよう職員も気を配って保育をしている。今年の夏休み、冬休みの長期休み利用者は例年より減少し、定期利用の児童数も減少している。2024年3月末で閉所してしまう為、卒業生も参加できるイベントを計画し子どもたちが楽しめるよう行事を行った。また公共交通機関を利用しての戸外活動などもおこない子ども達に新たな体験をさせる事が出来た。学童最後の遠足も無事に実行でき、また子ども達・保護者の方々からの惜しむ声を頂きながら2024年3月31日をもって閉所を迎えた。

地域子育て支援拠点事業

民設子育ての広場 すまいる石神井 令和5年事業報告

◇開催曜日： 月～金

◇公園遊び： 5月・9月・11月・3月

◇開催時間：10時～15時

子育てひろばでは、毎月イベントを開催し多くのお子さんや保護者の方に来館して頂いた。人気の講座に関しては予約がすぐに埋まりキャンセル待ちをする方もいた。

「おたのしみタイム」では手遊び・絵本の読み聞かせの他、季節の行事を取り入れ親子で思い出に残る製作を行った。また委託園の栄養士さんや看護師さんによる離乳食や育児についての講座も行い孤育てにならないよう、保護者の方に寄り添い少しでもサポートできるようにこれからも取り組んでいきたい。

高野台施設との合同イベントを前年度より多く取り入れこうえん遊びをはじめ夏のえんにちも5年ぶりに開催する事が出来た。学童児や卒業生・学生ボランティアにお店を割り振り、普段関わる事が少ない学年の子との交流の場として良い計画となった。参加した利用者の方からも「小学生や中・高校生と関わる事が少ない為、とても良い機会になった。またすごく優しく接してくれた事が嬉しかった。機会があればまた参加したい」などと感想を頂いた。この施設しかできないイベントの一つとして継続できればと思う。

民設子育ての広場 すまいる高野台 令和5年事業報告

◇開催曜日： 月～金

◇公園遊び： 令和4年度 5回開催(5月・9月・11月・3月は2回)

◇ボランティア団体・にじいろ絵本クラブさんの読み聞かせの会を(7月・1月の2回開催)

◇ボランティアによる英語の会・ハロウィン英語(5月・10月の2回開催)

◇法人保育園の栄養士による離乳食・幼児食講座(7月・9月・11月・3月の4回開催)

◇法人保育園看護師による夏と冬の過ごし方講座(6月開催予定は台風接近により中止・11月の1回開催)

◇通常のお楽しみ会及び、季節のイベントお楽しみ会を開催(石神井施設と合同開催あり)

◇開室時間： 9:00～14:00

昨年度1月からの通しでの開室が定着し、ランチタイムも再開。再開当初はランチルームが使われない日が多かったが、徐々に認知されてきたようで、現在は日に一組程度と、少ないが一定の利用はある。

コロナ禍を経て大きく変わったのはイベントの復活で、公園遊びも回数が増え、お楽しみ会も石神井施設との合同でのイベントや、外部のボランティアさんの協力を得ての読み聞かせや英語の会など、コロナ前までのお楽しみ会から変化のある内容となった。法人の大熊栄養士のご協力のもと、栄養士さんの離乳食講座や、つつじ保育園の看護師さんによる講座なども開催し、今後も定期的に継続していきたい会となった。

今年度も変わらず保育園入園者が多いことから、年度末の3月は卒業記念の手形を取ってお渡しするイベントを数日間に分けて行い、利用者の方々からも好評だった。

指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

令和5年度 すまいる相談支援室 事業報告書

利用契約者数 令和5年3月末 現在 登録者数 401名 実働数 175名

職員人数 事務 1名 管理者・相談支援専門員 1名

活動内容

障がいを持つ方をサポートする福祉サービスが複雑化するなか、相談者さんと面談とモニタリングを経て、それぞれに必要なとされるサービスを選択し、療育を含む年間の支援計画を作成し提供している。

毎年利用人数が増加しているが、丁寧な聞き取りをこころがけニーズを読み取るようにしている。定期的に保護者の方と面接を行い利用者さんの情報をお聞きしながら、ご利用になりたいサービス内容を盛り込んだサービス計画案を作成する。また、同時に他のサービスが必要な場合には情報提供を行う。

福祉サービスを継続する方には、適切なサービスが提供されているか、新たなニーズが無いかを確認しながらサービス計画を作成する。

半年に1回のモニタリングでは、サービス計画が各事業所において的確に遂行されているか確認をしながら、新たなニーズが無いか等聞き取りモニタリング報告書を作成する。

令和6年1月より異動の為、管理者が変更となり、相談支援専門員が一人減員した。

令和5年度はご自宅への訪問面談を実施し、家庭の事情に寄り添った面談形式を取り入れた。成人の利用者さんには個別で面談も実施し、より意思決定支援が行われるように配慮した。希望があれば支援者会議を実施し、支援の質の向上の為の話し合いや、必要な情報交換をした。また、事業所の面談に同席し、保護者の意向や、事業所の取り組み等を聞き取りした。

利用計画作成にあたっては、整合性が保たれるように事業所へ聞き取りし、保護者の話しや本人の状態像を踏まえ作成をした。加えて学校や利用事業所へ訪問し、様子の見学も実施した。

困難事例等は子ども家庭支援センターや福祉事務所と連携し、情報共有と今後の方向性などを確認した。

障 害 児 通 所 事 業

令和 5 年度 放課後等デイサービス すまいる・ステップ事業報告書

利用定員 1 日 1 0 名

利用契約者数 2 4 名

職員人数 6 名

管理者及び児童発達支援管理責任者 1 名・保育士 4 名・児童指導員(介護福祉士) 1 名

利用実績表 (実際に利用した人数)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	半期合計
実績数	199 名	208 名	208 名	189 名	191 名	184 名	1,179 名
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間合計
実績数	190 名	192 名	200 名	184 名	182 名	188 名	2,315 名

全体概況

- ・新型コロナウイルスが 5 類に分類され、ようやくおやつ作りやすまいる・ツリーとの合同イベントなど通常に戻しての活動を行うことができた。しかし、後半に入りインフルエンザや発熱などで欠席される児童がとて多かった。
- ・個別支援計画の立て方に関する研修を全職員対象に実施。職員全員が作成に携わることで、個々の支援や個別の配慮を常に念頭において子供たちと関わる意識がさらに強くなった。

年間の活動状況

- ・夏休みの一日保育は、社会福祉法人章佑会が運営しているベーカリーカフェポムに行き、自分の食べたいパンをお買い物する体験を行った。安くてとても美味しいパンで好評だった。2 回目は皆で焼きそば作りを行った。自分達で作ったため、とても良く食べていた。
- ・今年も放課後等デイサービスへのおやつお届け事業を行っている「ねりべじや」に手作りおやつの配達を依頼。無添加の手作り味噌と練馬野菜のお味噌汁・炊き込みご飯・季節の果物を使用したお菓子など、おやつを通した食育を実施。利用児、保護者から好評である。
- ・年 2 回、谷原施設にてすまいる・ツリーとの合同イベントを実施。中高生と一緒に大きな遊具や巧技台を使用した運動や大玉転がしリレー等体を思い切り使って遊んだり、お正月のちぎり絵等を行った。中高生の姿に触発され、子供たちの普段の姿と違う一面が見られた。
- ・年 2 回の保護者面談を実施。ほとんどの保護者が希望され、対面にて実施。卒業される保護者の方とは、ともに成長した姿を喜び合うことができ職員としては励みになった。
- ・今年度も保護者から電話による相談をお受けして、保護者の悩みに寄り添いながら一緒に伴走することを大切にしたい。

令和5年度 放課後等デイサービス すまいる・ツリー事業報告

利用定員 1日10名

利用契約者数 22名

職員人数 7名

児童発達支援管理責任者1名 保育士1名 児童指導員 2名 指導員2名 臨床心理士1名

利用実績表 (実際に利用した人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計
実績数	172名	160名	167名	171名	168名	176名	1,014名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
実績数	161名	179名	185名	175名	181名	189名	2,084名

総括

新型コロナウイルスの流行から早いもので4年が経過した中で、今まで中止していた活動の一部再開を検討し、おやつ作りと夏休みの戸外活動、保護者会を実施する事が出来た。また、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行するに当たり、利用者に関しては保護者判断の基、マスクの着用をしない状態での受入を行った事で、利用者同士顔を合わせて会話をしたり、活動を行う事でコロナ前の活気が戻って来たように感じる。6月から送迎車内に安全装置の取り付けを行った。エンジンをかけた際のアナウンスや警報音に不安を感じる利用者がいたが、今では安全装置の音に対して慣れた様子も見られるので引き続き安全第一に送迎業務に務めていく。

前年に比べると、利用者の人数も増え定期利用、一時利用の比率が増えてきている。活動内容もマンネリ化しないように工夫をしながら行う事が出来ていると感じる。

日々の計画課題

レクリエーション 小集団の中での活動を通して他児との関わり方や活動のルールを覚える
輪投げ、タオル引っ張り、ボッチャ、ダンス、○×(2択)クイズ
ディスクゴルフ、散歩等

音楽 季節の歌ったり楽器を演奏したり、流行りの曲に合わせてダンスを楽しむ
季節の音楽、リトミック、楽器演奏、中高生に人気の曲でダンス

買い物 施設内や近所のコンビニを利用して、公共のマナーを学び、支払いの練習を行う
室内買物 駄菓子屋さん、ケーキ屋さん

屋外買物 ファミリーマート、サミット

それぞれ上限 200 円の中で、購入できる品物を自分で選び購入をしてもらう。

運動

体の動かし方や使い方を覚えて楽しく運動を行う

ボール運動とサーキット運動を中心として活動を行う。活動内容も回数を重ねる毎に目標を高く設定していく事で、体幹やバランス感覚など 1 年間での利用者の成長を感じる事が出来た。

避難訓練

今年度は年 6 回に回数を増やす。昨今の自然災害発生回数や頻度を見て、「いつ起こっても対応出来るように」と火災時と地震時に備え、ヘルメットを被り、安全確保や避難の練習を行う。また、事前に職員や利用者に周知している避難訓練とは別で、担当職員のみが知っている状態での抜き打ちの訓練の実施も試みた。

工作

道具の使い方、片づけ方、困った時にはどうすればよいのか。という事を活動のテーマとして 1 年間取り組む。また、季節ごとの工作や、文化・風習に触れながら活動を行う。

活動内容としては、年賀はがき、七夕飾り、ポストカード、クリスマス飾り、卒業生へのプレゼントなど、季節に関する作品をメインに作業を行う

おやつ作り

コロナ禍もあってしばらく実施が出来ていなかったが、今年度より本格的に活動を行う。家庭でも作れる簡単なおやつや食べ物を作る事、1 人で作る事をテーマに、おにぎり、さつまいも茶巾、クレープ、ホットドッグを作ったり、夏休みは、子ども達と職員でカレーを作った

令和 5 年度 児童発達支援 すまいる・キッズ 事業報告

利用定員	10 名（1 日）
利用契約者数	31 名
職員人数	5 名 管理者及び児童発達支援管理責任者 1 名 保育士 3 名 ・ 作業療法士 1 名

利用実績数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	半期合計
実績数	130	135	154	152	170	159	900
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月～3 月合計
実績数	172	157	158	175	171	185	1918

※利用実績数は体調（利用児、保護者、兄弟）、行事（幼稚園、保育）、天候等により変動する。

新型コロナウイルス感染症関連

5 月に感染症法上の位置づけが 5 類感染症に変更されたことに伴い、対応を変更した。来所時の検温は実施せず、手指消毒は個別療育利用親子のみ継続とした。マスクの着用については各家庭の判断を基本とし、職員は療育時間中及び面談の際は着用することとした。同居家族に陽性者がいた場合でも、利用児及び付き添いの保護者に症状がない場合は利用可能とした。

新型コロナウイルス感染による欠席は大幅に減少したが、インフルエンザ、胃腸炎、診断名の付かない体調不良（発熱、咳、鼻水）による欠席児は増加し、9、11、12 月の利用児数の減少に繋がった。

コロナ禍の間休止していた保護者交流会を、すまいる・ヴィヴィファイを会場に再開した。法人内の相談支援員の参加により就学後の福祉サービスの紹介や、保護者同士の交流も活発に行われた。

他施設（幼稚園、保育園）との連携

コロナ禍も明けたことから、利用児の併行通園先への訪問を積極的に実施した。同年齢集団の中で過ごす様子を見学し、担任との情報交換を行い、その結果を保護者に報告すると共に療育内容に反映するようにした。併行通園先との連携は、保護者の安心感や当事業所への信頼感に繋がった。

Vineland-II 適応行動尺度

前期は作業療法士のみで実施していたが、後期からは保育士（正規職員）も研修を受講した。聞き手の育成を行った上で、全利用児対象に評価に基づいた療育内容を実施した。

ペアレントトレーニング

保育士全員が研修を受講し、その手法を支援方法や保護者支援に活かせるようにしてきた。

1 歳児グループ新設

夏頃より 1 歳児保護者からの問い合わせが急増したことを受け、11 月から週 1 回、保護者付き添いによる 1 時間の療育を開始した。我が子の発育や育児に対する不安感の強さを感じられた為、保護者支援にも力を入れるようにした。数回の通所で保護者の表情が明るくなり、我が子の小さな変化に気づき肯定できるようになっていく様子が見られた。

障害福祉サービス事業

令和5年度 就労継続支援B型 すまいる・フォレスト事業報告書

事業目的

利用者が日々笑顔で毎日を過ごせるように、働く生活を通じて、自立に必要な「生活力・仕事力・余暇力」の知識や技術を育成し、「社会力」を身に付ける事で「人間力」の向上を計り、「自己実現」を目指す。また、集団生活を通じてコミュニケーション能力の向上を図ると共にルールやマナーを身に着ける事で「協調性」を養っていく。利用者の「人生を豊か」にしていく。

利用定員

1日20名

利用契約者数

19名 新規契約者3名・退所者7名

待機登録者数

0名

職員人数

7名

- ・管理者（施設長）：1名
- ・サービス管理責任者（介護福祉士）：1名
- ・目標工賃達成指導員：1名
- ・職業指導員：1名
- ・支援員：1名
- ・支援員（非常勤職員）：1名
- ・障がい者雇用職員 1名

*職員退職者なし

利用者実績数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計	半期1日平均
実績数	323	299	365	306	338	350	1,981	16.0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	年間1日平均
実績数	367	356	379	239	240	282	3,844	15.8

今年度の作業・活動計画の結果と課題

●受注作業

- ・チップ作業、電気部品作業、パルプ作業、検品作業、各種封入作業、ラベル貼り作業、香り玉サンプル作成等

⇒継続作業と単発作業の組み合わせでバランスを取りながら、品質・納期を厳守。

利用者減少に伴い、仕事量や納期調整が必要となる。

●生産作業

- ・各種染物(Tシャツ、バック、ストール等)、ノート、手帳各種、くるみボタン製品、刺繍製品
季節、イベント製品等
- ・クルミルショップからの発注・納品
- ・三井ホテル関係（クリスマスオーナメント、折り鶴）

⇒法人内発注やクルミルショップへの発注・納品を定期的に行いながら、販売会へ出品。
三井ホテルからの折り鶴が継続作業に追加。作業に関われる利用者の育成が課題。

●食品作業

- ・各種はちみつ・オリーブオイル・ハーブソルト・ビネガー・ペッパー・オートミールクッキー
米粉クッキー等

⇒委託展示販売への発注・納品を定期的に行いながら、カフェや販売会へ出品。
ECサイトやお中元・お歳暮の発送業務も追加。
新事業所との業務引継ぎ及び業務分担が必要。

●農福連携

- ・はちみつオレンジ・はちみつレモン
- ・いちごジャム・いちごバター・いちごドレッシング・ニンジンドレッシング等

⇒伊東市の社会福祉法人クープとの連携ではちみつ商品を販売。

大泉学園のかとちゃんファームよりイチゴを提供して頂き、イチゴ商品を販売。みんなの食堂
では食材として野菜を提供して頂く。

今後は新事業所（すまいる・ピーターパン）が連携を図っていく。

●所外作業

- ・クロネコ DM 便（月曜日・水曜日・木曜日・金曜日）、石神井図書館外周清掃（火曜日）

⇒クロネコ DM 便は7月・8月・9月上旬は猛暑の為、安全を優先し実施せず。

石神井図書館清掃では夏場は日陰で休む回数を増やし、十分な水分補給を行いながら実施。

クロネコ DM 便が2月から郵政へ業務委託となった為、2月より石神井郵便局を拠点に「ゆうメ
ール配達業務」を実施。

新事業所（すまいる・ピーターパン）との業務分担を検討。

●販売会出店

- ・ハッピースマイルフェスタ（年6回・各回5日間）コレド日本橋、ゲートシティ大崎等
- ・ねりいち、われもこうマルシェ、Tジョイ販売会、西武マルシェ、EXPO、照姫祭等

⇒土・日の販売会が増えたことで、参加できる利用者が限られている為、来年度はフォレストと
して「ねりいち」への参加を増やしていく予定。

●委託展示販売

・石神井観光センター、われもこう、がむしやら、ローズガーデン等
⇒年間を通じて計画的に実施。 今後は新事業所（すまいる・ピーターパン）が主体的に行っていく。

●外部就労

・カフェ業務
⇒今後はカフェと新事業所（すまいる・ピーターパン）で実習を行っていく。

●活動報告

・余暇活動：毎月１回 ・社会人マナー：毎月１回 ・身体測定：毎月１回（体重、血圧） ・避難訓練：１回／３ヵ月
⇒余暇活動や社会人マナーは、事前の準備や会議を行うことで、安全・安心に実施できた。 身体測定は利用者自身が希望する日を決めたことで、スムーズな実施に繋がった。 避難訓練に関しては、「警報の音」が苦手で不安になる利用者の影響を考慮しながら実施。

●会議報告

・全体会議：毎月１回 ・ケース検討会：８月・９月・２月・３月 午後 ・次年度会議：２月 午後 ・工賃検討会議：１回／６ヵ月 ・家族会：９月、２月 午前
⇒各会議の議事録を作成する際に、内容と時間のバランスを考慮することで、概ね時間内に実施することができた。 家族会に関しては、前期は対面とオンラインにて実施したが、コロナ緩和に伴い、後期は対面のみにて実施。

今年度の実施計画の結果と課題

*法人連携の取り組み（法人連携）

- ・法人内保育園の卒園児用コサージュ等の制作。
- ・法人内保育園タオル、ポロシャツ等の刺繍。
- ・法人内事業所のエプロン等の刺繍。
- ・法人内カフェでの生產品・食品等の販売。

*利用者確保

日々の利用者人数を１８～２０名を目標にしていたが、１７名程度に留まった。

１月より新事業所（すまいる・ピーターパン）へ６名の利用者が異動したことで、現状の在籍者数が１９名になった為、来年度は在籍者数を増やし、１日の利用実績２０名を目標とする。

*一般就労体験

法人内カフェでの店員業務は月曜日から金曜日の5日間実施し、1名の利用者が毎日勤務を行い、2名の利用者が曜日を決めて食品加工を継続的に行った。

12月からは新事業所（すまいる・ピーターパン）の練習期間として、3名の利用者が曜日を決めて洗い物や掃除等の実習を行った。

*利用者工賃

作業（受注・生産・食品作業等売り上げ）に伴う毎月の収入

前期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績額	¥583,882	¥267,746	¥290,323	¥230,410	¥412,930	¥341,629
後期	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績額	¥294,004	¥336,300	¥302,538	¥162,680	¥230,309	¥292,938

*平均工賃…¥11,040円

今年度まとめと来年度に向けて

今年度より障がい者雇用として1名職員が加わり、7名体制にてスタート。

年度初めは材料不足の影響で継続の受注作業が減った為、新規受注作業の開拓を行い、利用者へ滞りなく作業を提供することができた。

1月から新事業所の開所に伴い、食品関係が新事業所主体で進める事となり、「受注・生産・食品」の3本柱から、「受注・生産」の2本柱となった。

コロナ緩和に伴い、販売会への参加も増え、食品や生産の売上が増加したが、1月からは食品部門の売上が新事業所へ移行となった為、売上が減少し、平均工賃は11,040円となり、目標工賃（16,000円）を下回る結果となった。

利用者に関しては、在籍23名からスタートし、3名が新規契約となり、1名が退所され、新事業所の開所に伴い、1月から6名の利用者が異動退所となった為、現在は在籍19名となっている。

職員も1月から2名が新事業所へ異動となった為、常勤職員1名がフォレストへ入職。

新事業所の開所に伴い、来年度は職員体制に変化があるが、フォレストの基本方針を伝え、統一した支援を目指す。

また、相談事業所と連携を図り、在籍者数を増やし、1日の利用実績20名を目標とする。

農福連携に関しては、食品作業として新事業所が主体的に連携していくなど、食品部門の売上げが新事業所と分散になると予想される為、フォレスト全体の売上げと在籍利用者の確保が来年度の重要点になると考えられる。

令和5年度 就労継続支援B型すまいる・ピーターパン事業報告書

事業目的

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために就労の機会を提供するとともに生産活動その他の活動の機会の提供を通じて知識及び能力の向上のための必要な訓練その他の便宜を常に利用者の立場に立って適切かつ効果的に行うことを目的とします。

事業内容

店舗を併設する事業所であり、店舗での販売する商品を生産する調理活動と店舗運営の店員作業として、レジ、接客、販売などを行う。

石神井公園が目の前なので、お天気が良い日にテイクアウトして公園で食べれるような商品（おにぎり・キッシュ・スープ・カレーなど）を提供している。また、隣のカフェに持ち込めるためスイーツなども生産販売する。

調理活動では地域の農家さんからの野菜の提供で農福連携や隣のカフェとの連携でお客様との交流を持つ作業所。

地域に愛される店舗を目指すとともに地域の方々の障害者理解にも繋がるきっかけの場として店舗運営していく。

利用定員

1日20名

利用契約者数

8名

待機登録者数

0名

職員人数

7名

- ・管理者兼サービス管理責任者（施設長・社会福祉士）1名
- ・サービス管理責任者（介護福祉士）1名
- ・目標工賃達成指導員 1名 ・職業指導員 1名
- ・支援員（非常勤職員）1名

今年度の作業・活動計画の結果と課題

*週間での取り組み

・店舗運営作業… 衛生面に注力し、消毒などを欠かさず、清潔な店舗を維持する。
瓶詰等、ねりコレ商品など賞味期限の長いものの展示の数を決め、販売したら補充する形とする。
試食なども積極的に行い、商品の良さを知ってもらうことから始めている。

- ・調理活動作業… 日々定番商品を確定させ、その場で作る商品（スムージー類、すまいるサンド・はちみつサンド）と作って展示販売するもの（カレー・ラタトゥイユセット・キッシュ・スープ・おむすびセット・サラダ・スイーツ系と分けている。
スイーツ系はグルテンフリーの米粉を使った商品やオートミールなど健康志向の方やオーガニックなどのこだわりがある客層をターゲットにしてい

基本的には二人ペアで作業をしていき、覚えていってもらう。（職員と利用者のペアから利用者同士のペアを目指す）

- ・食品作業… はちみつが「2022 年度ねりまコレクション」に認定され今後も継続する。オリーブオイル、ハーブソルト、ペッパー等につき今年度に「アップル・レモンビネガー」を新商品として発売した
- ・外部就労（カフェ業務等）…食品作業に伴い、カフェには定期的に利用者が作業に行くことが定着してきた。今後は、実習も含めてカフェ業務を行える利用者を増やしていきたい。

*** 月間の取り組み**

- ・販売会出店

（ねりいち）… 1 月より、光が丘 IMA の販売会に参加している。

店舗併設の為、積極的に販売会に出る必要は無いが、練馬区内の事業所として認知してもらい、利用者増加につながる活動はしていく

- ・ねりコレのお披露目販売会や食品メインの売れ合いバザールなどに参加していく

- ・研修旅行…来年度から企画していく 工賃から各自の積立金を 3000 円して旅行（自分の楽しみ）に行くことを体験し、お金の管理も並行して出来るようになることを目指す

- ・S S T・・・日々の仕事の中では職員同僚という考え方の元、コミュニケーションを図っていく

・報告連絡相談を基本とし、社会人としての挨拶や気遣いができるようになる支援指導をしていく

- ・身体測定…自己管理し、年に 1 回健康診断してもらう

*** 3 カ月毎の取り組み**

- ・ケース検討会は 2 月実施した。基本的にはフォレストの個別支援計画を継続しつつ新年度に向けて、ピーターパンでの作業の様子を見ながら検討した
- ・作業評価表は、単発作業にも対応する新たな評価基準等の検討が急がれるが来年度以降の課題としたい。
- ・避難訓練は、3 か月毎に利用者には告知しない方法で職員は計画的実施していく。
- ・職員面談は、3 カ月毎に実施していく。利用者同様、職員の働きやすさ、やりがいを考える事でより良い支援に繋げてきた。職員メンバーも固定、安定してきているので来年度以降は頻度を減らしていく事を検討している

*** 6 カ月毎の取り組み**

- ・個別支援計画の作成は、利用者面談、ご家族の聞き取り、ケース検討会を経て作成をしていく 来年度は計画的に丁寧な取り組みをしていきたい。

- ・工賃検討会は、作業評価表と連動して、従来の評価基準に類似した考えで担当職員が行った。来年度は、現状の作業に対応出来る評価基準表を作成して評価する職員も増やしていきたい。
- ・家族会は行わず、定期的な情報誌のようなかたちで、すまいるピーターパン通信で日々の様子をお知らせしていく

***法人連携の取り組み（法人連携）**

- ・法人内保育園からは、店舗の休みの日に残った商品を半額で購入してもらうようにして、売上向上に貢献してもらった。また、職員の行事際のお弁当の依頼を受けて提供した（30食）

今年度の実施計画の結果と課題

***利用者確保**

店舗併設の新しいスタイルなので、丁寧な説明と見学実習は受けていく。
日々の利用者人数を10名の目標にしていく。
実際には6名の利用者からのスタートとなった。
今後は特別支援学校の新卒も含めて利用者確保をしていきたい

***店舗運営作業**

衛生面に注意しながら、季節感を感じる気持ちの良い店舗設営を心掛けていく

***調理活動作業**

職員が全メニューの作り方を覚え、（マニュアル見ながら）指導できるようにしていく。慣れた利用者は得意な調理をマスターしていくことを目指していく。

***食品作業**

在庫管理の徹底、部材、材料等のコスト、購入等も意識して収支に見合う商品開発や商品数を意識して行っていく。

***研修旅行**

事業所同士の交流を深める すまいるはちみつに入っているオーガニックオレンジとオーガニックレモンを作っている河合農園に行き、有機栽培について知識を得る。また収穫を通じて作業の一部を体験する。離れた地域の同じB型作業所の様子を見て内容を知り、
工賃アップの工夫などを参考にしていく
食を通じた体験や知識の習得のためにいく

***社会人スキルの向上のために**

社会人としての必要なスキル（「立ち振る舞い」や「報告の仕方、言葉遣い、伝え方」等）を職員が意識しながらその都度伝えていくOJT方式で行っていく

***一般就労体験**

法人内保育園の実習等は検討・相談まで行っていく。
レインボーワーク主催の会社見学会も利用者の希望があれば、参加していきたい。

＊利用者工賃

作業（生産・食品作業等売り上げ）に伴う毎月の収入

店舗売上	1 月	2 月	3 月	合計
実績額	¥387, 135	¥551, 190	¥542, 213	¥1, 480, 538

＊平均工賃…¥45.100（報酬改定一番上位区分）

利用者人数が少ないために平均工賃が上がっている。

農福連携の結果と課題

例年通り、伊東市の社会福祉法人クープの就労継続支援 B 型のプラウ（河合農園）の連携で無農薬の有機栽培のオレンジとレモンではちみつシリーズを作り販売した。その果物を使用した「はちみつシリーズ」が 2022 年度ねりま・コレクションに認定されている。

かとちゃんファームより依頼された「イチゴを使った食品ロスを減らすための企画」で商品化された、イチゴジャム、イチゴドレッシング、イチゴバターは昨年同様、農協や各種販売会で販売を行った。練馬区主催の「ビジネス交流会」に参加して、数軒の農家の方と知り合う事が出来たので来年度は、新しい取り組みや商品開発の検討をしていきたい。また、商品化できた物については公益事業のカフェを通じて試食や販売促進し地域の多くの方々に知っていただく工夫をしていく。

関係機関等との連携の結果と課題

＊見学・実習等

今年度も各関連施設からの見学、実習に伴う問い合わせ等は多数あった。福祉事務所、保健相談所、相談事業所、クリニック等からの紹介で契約にも結び付いた利用者もいた。今後も法人理念や社会貢献も含め、見学者や特別支援学校実習生等は受け入れて行きたいと考えている。

＊一般就労等

目標として、2 年 1 名程度だが 3 年連続で一般就労へ送り出せたらよいと思っている。今後も利用者の希望を主に 1 年に 1 名程度は一般就労へ繋げていく取り組みは継続していく。

今年度まとめと来年度に向けて

今年度は事業開始が 1 月で 3 か月間しかない年度となった。しかしながら、利用者が少ない中、職員とマンツーマンで指導することができ、現在の利用者の作業効率があがり、作業内容も増えて利用者自身のできることが増えてきている。

まずは、利用者確保をしながら、利用者への指導と並行して、店舗の季節商品などの新商品開発にも力を入れていきたい

コミュニティカフェ社会貢献事業

令和5年度 みんなのカフェ すまいる・VIVIFY 事業報告

事業目的

VIVIFY の意味合い「人を生き生きさせる」「輝かせる」「生気を与える」というように地域みんなが生き生きと笑顔で暮らせることを願い、カフェを通じて地域住民同士の触れ合いの場、一人一人が自分の時間としてゆったり過ごせる場所であり、公益事業として申請をしたことにより、地域住民に対する貢献的な働きを求められている。

営業日 年中無休（11時～17時） 土日祝 12時～17時半

＊令和元年度より、年中無休として、地域への周知と共に、お客様を増やす努力をした。結果売上も上昇であったが、令和2年度以降新型コロナウイルスによる休業等や対策で売り上げは低迷した。地域のニーズに応えるために、飲食店が休業などしている中でも継続して年中無休で営業した。



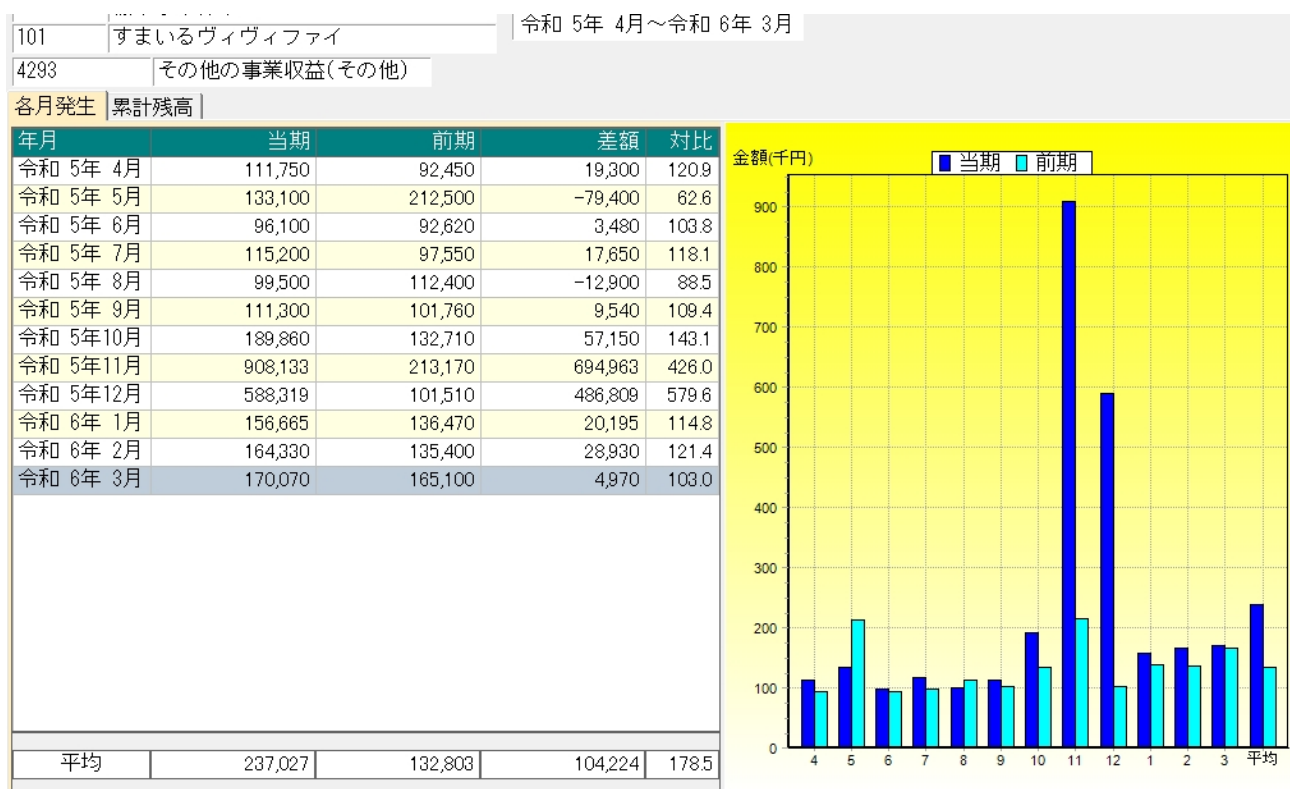
イベント当日はドリンクメニューを学生支援団体が材料も購入し、自分たちで作って提供するスタイルとした。ドリンクメニューの売り上げを団体として使ってもらうことにした

売り上げ金額→38,840 円（昨年度 40,640 円）
学生応援のイベントとして継続していく予定

写真：3月に実施した学生支援団体「はじまりの場所」とのイベントの様子

販売品売上 すまいる・VIVIFY・Sweets&Honey Factory（食品）

カフェに商品を置いておくことで障害者施設の生産品や食品加工品であることを知ってもらい、商品の背景やストーリー性で購入してくださる方が多い。また食品については、美味しかったことでのリピーターや手土産やプレゼントとしても活用していただいている。



売上分析

昨年度と比較すると **Sweets&Honey Factory** オープンの11月が爆発的な売り上げとなっている。その後も今年度の売上の方が延びているので、隣に姉妹店として店を出したこちとによる売り上げ効果は大きい 職員同士・利用者同士の連携をしながら両方の店の売上が上がるような相乗効果を狙っていく。新たな店舗はテラス席を設置し、ペットと同伴で食事がとれるため、カフェとは違った特徴を持ち合わせていることも売り上げ相乗効果の1つだと思われる。どちらの商品も持ち込みを **OK** としているが滞在する方の店舗での注文は必須としている。

実施内容

ドリンクと食事の提供

ドリンク (ホット) メニュー7種 ドリンク (アイス) メニュー5種 アルコールは中止とした

食事メニュー フランクフルト、ワッフル、トルティーヤチップス

隣の姉妹店 **Sweets&Honey Factory** とカシュカシュ (ケーキ屋) の商品 (飲み物以外) の持ち込みを可とする。

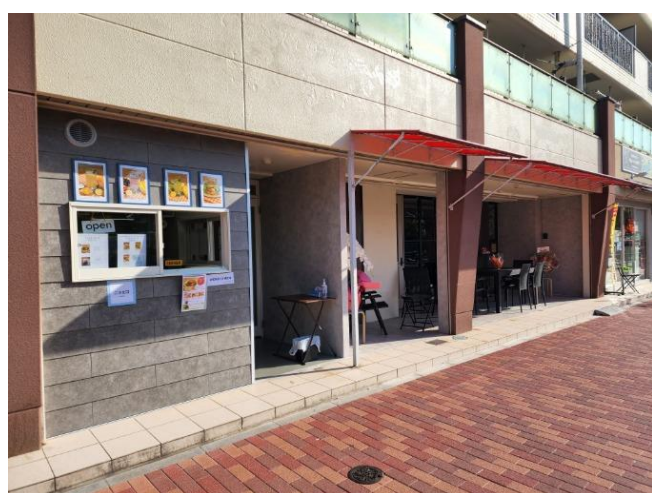
パンは温めサービスを実施、ケーキもお皿とフォークを提供する。

*セットをやめて、フードをすべて単品にすることによって、注文が増えた。テイクアウトも良好。

さらに11月より隣の店舗 **Sweets&Honey Factory** を構え、スタートし、1月からは新事業所 就労継続支援B型すまいるピーターパンがスタートした。

となりに姉妹店として、商品の持ち込みを可能とし、さらにカフェの認知がされたと思われる。

カフェではペット同伴は無理だが、隣のお店ではてらう咳があることにより、ペット同伴が可能 お店の使い分けも地域住民にとって喜ばれている。



就労継続支援 B 型 すまいる・ピーターパン
が併設するお店の店舗名が
Sweets & Honey Factory

農福連携

昨年度から継続してかとちゃんファームとはいちごジャムといちごドレッシングをカフェでフォレストの利用者が作り、販売した。





地域共生

西武マルシェのイベントの際にライオンズクラブ石神井よりスズシロ汁を無料で提供することと、ライオンズクラブとスズシロ汁のレジピアレンジのフィリップ（ピザ屋さん）と就労継続支援 B 型のあんずの家がスズシロ汁を作りカフェのスタッフ（フォレスト利用者）と一緒に手伝いをした。昨年度はライオンズクラブよりカフェへのお米の提供があったなど、今後も連携していき、飲食店や地域活動を行うクラブと地域貢献活動を共にしていく形となる。令和 5 年度は 1 回のみ（一回は天候により中止）

子ども食堂 みんなの食堂すまいる

4 月より毎月第一水曜日に実施した。予約制の 20 食限定。HP から予約できるようになり、手軽に申し込みができるようになった。チラシを作成し、近所の南田中団地に配布などをし集客に力を入れた。比較的ひとり親など親子での参加が多くなってきた。また、知ってもらうためにレンタルボックス等利用されている方の参加も見られた。本来の子ども食堂という意味合いとは違っては来るが、ニーズのある方へという事で発信している。フォレスト利用者の一人暮らしの方などは偏った食生活になりがちなので、参加する方が多い。今後はより広く、知ってもらい利用者が増えると良い。

ボランティアは継続して地域の方とフォレスト職員とフォレスト利用者と理事長で行っている。

参加利用（ボランティアは毎回 2～3 名）

みんなの食堂すまいる 2023 年度集計

食材費

開催月	開催日	食材費支出
4 月	4 月 5 日	9,689 円
5 月	中止	
6 月	6 月 7 日	8,189 円
7 月	7 月 5 日	7,758 円
8 月	8 月 2 日	7,545 円

9 月	9 月 6 日	6,391 円
10 月	10 月 4 日	7,230 円
11 月	11 月 1 日	5,223 円
12 月	中止	
1 月	1 月 10 日	8,618 円
2 月	2 月 7 日	4,527 円
3 月	3 月 6 日	4,251 円

利用者数（定員 20 人/大人 300 円・子供 100 円）

開催月	大人	子供	売上	子供+保護者数
4 月	12 人	2 人	3,800 円	大人 2 人、子供 2 人
5 月	中止			
6 月	10 人	5 人	3,500 円	大人 5 人、子供 5 人
7 月	7 人	4 人	2,500 円	大人 4 人、子供 4 人
8 月	8 人	4 人	2,800 円	大人 3 人、子供 4 人
9 月	12 人	5 人	4,100 円	大人 4 人、子供 4 人
10 月	9 人	4 人	3,100 円	大人 5 人、子供 4 人
11 月	11 人	7 人	4,000 円	大人 6 人、子供 7 人
12 月	中止			
1 月	7 人	1 人	2,200 円	大人 2 人、子供 1 人
2 月	8 人	5 人	2,900 円	大人 4 人、子供 3 人
3 月	14 人	4 人	4,600 円	大人 6 人、子供 4 人

今年は西京信用金庫から 2 か月に 1 回の果物の提供があり、喜ばれた。

来年度も継続予定 また、ねりま子ども食堂の連携で白米ももらう事が出来た。





新たな取組

＊ドリンクメニューに冬季限定のホットチョコレートを追加した
フォレストメンバーが作るオーガニッククッキー2種類と米粉クッキーを販売し、好評である。



＊昨年度よりすまいる・フォレストの作る食品加工ではちみつシリーズとオリーブオイルをスタートし、カフェで販売している。またデザートメニューのアイスやベーグルメニューのトッピングにはちみつオレンジとハーブオリーブオイルをつけて食してもらう機会を設定している。今後はすまいる・ピータパンで作っていく方向性となる。

＊食品の新メニューとしては障がい者大泉ホームの就労継続支援B型の栽培する水耕栽培のレタスを購入し3種のレタスを新メニューとし、オリジナルドレッシング（ハーブオリーブオイル+レモンアップルビネガー+ハーブソルト）と季節のドレッシング（農福連携商品）お2種類選択してもらう形で提供した。食品加工品の詰め合わせギフトもお客様のご要望にお応えしている。
レタスサラダのレタスが残った場合には、隣の新店舗のすまいるサンドのレタスとして活用し、無駄のないようにしている。

＊ねりこれに選ばれたことにより石神井公園駅前の練馬区石神井公園観光協会より発注され、店頭販売している。ハーブソルトなどは人気商品で売りあがっている。



ハーブソルト 500 円
ハーブオリーブオイル
900 円
アップルレモンビネガ
ー900 円

(ギフト用セット) (ドレッシングセット)



伊東市の社会福祉法人クープの就労継続支援 B 型のブラウ(河合農園 伊東市)との連携で行った。(農福連携)

素材にこだわり全て有機栽培のもので作っている(有機砂糖 有機白ワイン 有機レモン 有機オレンジ)

はちみつオレンジ小 110g 600 円 大 250g1300 円

はちみつレモン小 110g 600 円 大 250g1300 円

はちみつナッツ小 110g 700 円 大 250g1500 円

※ねりコレの期間は 2 年間だが、希望すると 2 年間延長ができるので、延長することに決定。

石神井公園の観光案内所での売れゆきもよい。

ニーズを確かめながら、新商品開発にもとりくんでいきたい。

令和 5 年度事業報告 以上

